

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公開番号】特開2013-81905(P2013-81905A)

【公開日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-022

【出願番号】特願2011-223820(P2011-223820)

【国際特許分類】

B 0 1 F 5/00 (2006.01)

B 0 1 F 3/02 (2006.01)

【F I】

B 0 1 F 5/00 D

B 0 1 F 3/02

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月9日(2014.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内側で第 1 と第 2 の流体を混合する中空筒状の本体と、
前記本体の上流側端部に設けられて前記第 1 の流体を流入させる第 1 の流入口と、
前記本体の内側に配置され、前記第 1 の流体の流れる方向に沿った軸心を有し、両端が開口した中空筒状の混合促進体と、

前記本体の周壁に設けられて前記混合促進体の外周面に向かって前記第 2 の流体を流入させる第 2 の流入口とを備え、

前記混合促進体が前記本体とほぼ同心に配置されている流体混合器。

【請求項 2】

請求項 1において、前記本体を形成する第 1 の配管に、前記第 2 の流入口に第 2 の流体を供給する第 2 の配管が直交して接続されている流体混合器。

【請求項 3】

請求項 1において、前記本体を形成する第 1 の配管に、前記第 2 の流入口に前記第 2 の流体を供給する第 2 の配管が接続され、その接続部における前記第 2 の配管の端縁が前記第 1 の配管の内周面と面一またはこれよりも径方向外方に配置されている流体混合器。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか一項において、前記第 1 の流体は前記第 2 の流体よりも低温である流体混合器。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか一項において、前記本体における下流部が、下流に向かって通路面積が増大する拡径部により形成されている流体混合器。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の流体混合器が、熱交換器の上流側に配置される熱交換システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 7 】

第 2 の配管 2 8 は排気ダクト 2 5 の円筒状部 2 5 a に直交して溶接により接続され、第 2 の配管 2 8 からの第 2 の流体である加温用ガス G 5 が、第 2 の配管 2 8 の下流端縁 4 6 によって形成された第 2 の流入口 4 5 から、本体 4 1 内に流入し、混合促進体 3 8 の外周面 3 8 a に衝突するようになっている。混合促進体 3 8 の外周面 3 8 a に衝突した加温用ガス G 5 は、混合促進体 3 8 の外周面 3 8 a に沿って案内されながら、排気ダクト 2 5 の円筒状部 2 5 a の内周面 2 9 と混合促進体 3 8 の外周面 3 8 a との間を流れる。第 1 の流体である排ガス G 4 は第 2 の流体である加温用ガス G 5 よりも低温である。